

まつやま自主防災組織 訓練の手引き

松山市 総合政策部 防災・危機管理課
令和2年6月
(令和5年11月改訂)

はじめに

平成30年7月豪雨は、全国的に大きな被害をもたらした平成最悪の水害となりました。松山市でも土砂災害や浸水害が発生し、住家や道路、農地などに多くの被害がありました。

そうした中で、自主防災組織のみなさんによる避難誘導や避難所運営などにより、被害を最小限におさえることができた事例もありました。

これらは、自主防災組織として日頃から地域で防災訓練や研修会を行い、ほかの組織や団体と顔の見える関係づくりを行ってきた結果だと思えます。

そこで、松山市内の自主防災組織で行われている主な訓練や研修のメニューを中心に、本事例集としてまとめました。

近年の異常気象による大規模災害の多発に加え、南海トラフ巨大地震の発生も間近に危惧されています。この事例集を参考に、ぜひ地域の実情に合わせた自主防災組織の活動を行っていただければ幸いです。

こんな方におすすめ

- ・ 訓練や研修をしてみたいけど、どうやって実施するかわからない
- ・ 地域での活動はしているけど、マンネリ化が気になる
- ・ ほかの地区でどんな活動をしているか知りたい など



目 次

| | |
|---------------------|-----|
| 1. 自主防災組織の役割 | 1 |
| 2. 活動の実施手順 | 2 |
| 3. 防災訓練・研修会のメニュー | 4 |
| 4. ほかの組織や団体と協力しましょう | 2 5 |
| 5. あれば安心！備蓄・資機材リスト | 2 6 |
| 6. 資機材・備品など貸出品リスト | 2 7 |
| 7. 困ったときの相談先 | 3 3 |

1. 自主防災組織の役割

自主防災組織とは、地域に住む住人が平常時からお互いに協力し合い、「自分たちのまちは自分たちで守る」ということを目的に結成される防災組織のことをいいます。その活動は、「これをしなければならない」という決まったものではありません。

ここでは、自主防災組織に期待される役割について記載します。地域の実情に合わせて、必要な活動をみなさんで考えてみてください。

【自主防災組織の役割】

| 平常時 | 災害時 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 防災知識の普及、啓発・ 防災訓練の実施・ 防災資機材や備蓄の管理、点検・ 地域内の危険箇所の把握、安全点検・ 避難行動要支援者への配慮 | <ul style="list-style-type: none">・ 情報の収集、伝達・ 救助、救出、救護・ 初期消火・ 避難誘導・ 避難所の運営、管理・ 給水、給食 |

2. 活動の実施手順

訓練や研修会の実施には、事前準備が必要です。ここでは具体的な手順とスケジュールを示しますので、参考にしてください。

(1) 実施時期を決める

準備期間も考慮して、余裕をもったスケジュールを組みましょう。

実施の半年前～3カ月前頃から計画している組織が多いです。

(2) 目的や目標を話し合い、実施内容や対象者を決める

本書の「3. 防災訓練・研修会のメニュー」には、目的にあわせたメニューを掲載していますので、いくつかを組み合わせて訓練や研修会をしてみましょう。

また、内容を決めるときは、地区の災害リスクや地域特性（高齢者が多い、日中人が少ないなど）も考慮すると、より効果的な訓練が行えます。

(3) 会場を決める

会場は、避難所に指定されている公民館や小中学校などが選ばれることが多いです。

実施する訓練の内容や、参加者の人数も考慮して選びましょう。

(4) 関係者を集める

訓練や研修会には、自主防災組織だけでなく、様々な組織や団体に参加してもらおうと顔のみえる関係づくりを行うことができます。本書の「4. ほかの組織や団体と協力しましょう」も参考にしてください。

(5) 参加者を集める

チラシを作って回覧板で案内したり、ポスターをつくって地区内に掲示するなど、様々な工夫をして参加者を集めましょう。

(6) 役割分担をする

研修会や訓練では、司会や受付、撮影係のほか、訓練ごとに指導者や補助員などが必要になります。みんなで必要な役割を話し合い、役割分担をしましょう。

(7) 開催する⇒振り返りをする

訓練が終わったら、良かった点や反省点をみんなで振り返りましょう。


目標が達成できたかどうかを確認し、次回の訓練につなげましょう。

■訓練スケジュールの例


| | |
|----|---|
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校との日程調整 訓練開催日を登校日にし、地域の小学生、中学生にも参加してもらうため、開催日について学校の先生と協議しました。 ●第1回地区会議（公民館） 出席者：自主防災組織、消防団、女性防火クラブ、小中学校の先生 訓練の目標と実施内容、会場を話し合いました。 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第2回地区会議（公民館） 出席者：自主防災組織、消防団、女性防火クラブ、小中学校の先生 訓練の実施内容を再度話し合いました。 ●消防署への相談 訓練に必要な資機材や講師の派遣について、最寄りの消防署に相談に行きました。 ●関係者への参加依頼 地震体験車の予約や企業へのブース出展などを依頼に行きました ●第3回地区会議（公民館） 出席者：自主防災組織、消防団、女性防火クラブ、小中学校の先生 役割分担や準備物を話し合いました。 ●松山市への補助金申請 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ●案内ちらしの作成・配布 ●必要な物品や資機材の購入 ●第4回地区会議（公民館） 当日の詳細なスケジュールについて確認しました。 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ●訓練当日 <ul style="list-style-type: none"> 8時00分 役員集合、会場準備と炊出し開始 9時00分 住民が避難経路を確認しながら〇〇小学校へ避難訓練 9時30分 避難所受付をし、地区ごとにわかれて集合 10時～ 開会式のあと、住民はそれぞれのブースで体験 <ul style="list-style-type: none"> ・AEDを使った救命講習 ・避難所資機材体験（簡易トイレ・段ボールベッド） ・水消火器で初期消火訓練 ・防災検定 ・地震体験車、煙体験 ・防災グッズ展示（地元企業による） 役員は、訓練補助や炊出しを行う 12時00分 訓練終了式、炊出しのカレーを実食 |

3. 防災訓練・研修会のメニュー


(1) 防災グッズや資機材の展示

| | |
|---|--|
|  | <p>概 要</p> |
| <p>防災グッズや資機材を展示し、何に使うものか、なぜ必要なのかを説明します。実際に組み立ててもらったり、使ってもらいと、より理解も深まります。</p> | |
| <p>目 的</p> | <p>防災に必要なグッズを紹介し、家庭での備えを促進する。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>防災グッズや資機材</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズはホームセンターなどで購入できます。 ・各家庭の非常持ち出し袋を展示するのもひと工夫です。 |


(2) 消火器を使った初期消火訓練

| | |
|---|--|
|  | <p>概 要</p> |
| <p>地震後に火災が発生すると、消防機能が麻痺しているため、被害が拡大する恐れがあります。各家庭で初期消火できるように、消火器の使い方を習得しましょう。</p> | |
| <p>目 的</p> | <p>消火器の使い方を習得する。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>水消火器、コーンなど（放水先として）</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本物の消火器で訓練することもひと工夫です。 ・火を使う際は、職員の指示に従って安全に気を付けて行いましょう。 |


(3) 救命救急訓練

| | |
|---|--|
|  | 概 要 |
| <p>人形を使って、胸骨圧迫の方法や AED の使い方などを習得します。自然災害だけでなく、日常の中での事故やけが、急病のときにも役立ちます。</p> | |
| 目 的 | 救命救急の方法を学ぶ。 |
| 対 象 | 住民のみなさん |
| 準備物 | 訓練用人形、AED |
| 相談先 | 最寄りの消防署 |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練用人形や AED の貸出は、最寄りの消防署にご相談ください。 |


(4) 応急救護訓練

| | |
|--|---|
|  | 概 要 |
| <p>三角巾や身近なものを使った止血、家庭にあるものでの応急担架の作り方などを学びます。災害時には救急車がすぐには来ない可能性があるため、自分たちで応急手当ができるようにそなえておきましょう。</p> | |
| 目 的 | 応急手当の方法を学ぶ。 |
| 対 象 | 住民のみなさん |
| 準備物 | 救急セットなど |
| 相談先 | 最寄りの消防署 |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹竿と毛布で応急担架を作ったり、サランラップとタオルで応急止血をするなど、身近にあるものを使った応急手当の方法も学びましょう。 |


(5) 火災の煙体験

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>火災が発生すると、パニックになり落ち着いて避難できないことがあります。煙体験を通して、火災が起こると室内はどうか、どのように避難行動をとればよいか学びましょう。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>火災時の避難方法を習得する。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>煙体験器材</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・煙体験器材の貸出は、最寄りの消防署にご相談ください。 |


(6) 起震車での地震体験

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>南海トラフ巨大地震では、松山市でも最大震度7が想定されています。地震体験車では震度7の揺れも体験できます。また、ほかの人が体験している様子を見て、地震がおこるとどうなるか知ることができます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>地震の揺れを体験することで、揺れを理解し、防災意識を高める。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>地震体験車</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地震体験車の貸出は、最寄りの消防署にご相談ください。 |


(7) 応急給水訓練

| 概要 | |
|---|--|
|  | <p>災害時の断水に備え、市内の小中学校に設置されている応急給水栓の取り扱い方法を学び、実際に給水を体験してみましょう。</p> <p>応急給水栓の設置がない学校では、給水車による給水訓練も実施できます。</p> |
| 目的 | 災害時の水について考え、応急給水栓の取り扱い方法を学ぶ。 |
| 対象 | 自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 松山市公営企業局企画総務課 (Tel: 089-998-9802) |
| ひとこと | ・訓練の2ヶ月前をめぐりに、「応急給水訓練申込書」を松山市公営企業局企画総務課へ送付してください。 |


(8) 土のうづくり訓練

| 概要 | |
|---|--|
|  | <p>土のうは、雨で家が浸水するのを防いだり、地域の危険箇所にあらかじめ設置して被害を抑えたりするのに有効です。</p> <p>雨が多くなる時期の前に訓練をして、いざという時に使えるように準備しましょう。</p> |
| 目的 | 土のうのつくり方、積み方を習得し、大雨災害に備える。 |
| 対象 | 住民のみなさん |
| 準備物 | 真砂土、土のう袋、スコップ、軍手 |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・土のう袋や真砂土はホームセンターなどで購入できます。 |


(9) 避難訓練

| 概要 | |
|---|---|
|  | 各家庭から避難場所に避難する訓練です。避難先を確認することはもちろん、家から避難所までの道に危険な場所はないか確認してみることも重要です。 |
| 目的 | 避難先と安全な避難経路を確認する。 |
| 対象 | 住民のみなさん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・訓練会場を地域の避難所にすると、避難訓練を取り入れやすいです。 |


(10) 避難所開設訓練

| 概要 | |
|---|---|
|  | 避難所の開設は基本的に施設管理者が行いますが、施設管理者が間に合わない場合や、地域独自で避難所を開設する場合を想定し、自主防災組織で避難所を開設する手順を体験します。 |
| 目的 | 避難所開設手順を確認する。 |
| 対象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | 施設の鍵、松山市避難所運営管理マニュアルのチェックシート |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・開設に備えて、避難所になっている公民館や小学校の鍵の管理について、日頃から施設管理者と協議しておくことスムーズに開錠できます。 |


(1 1) 避難所受付訓練

|  | | 概 要 |
|---|---|--|
| | | <p>避難所で避難者を受け入れる際には名簿の作成が重要です。実際の名簿を使用して受付をしてみましょう。受付後は地区ごとにスペースをわけて座ってもらうなど、避難者の誘導にも工夫をしましょう。</p> |
| 目的 | 避難所を開設したときの避難者の受付方法を習得する。 | |
| 対象 | 自主防災組織の避難所班のみなさん | |
| 準備物 | 筆記用具、松山市避難所運営管理マニュアルの避難者名簿 | |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 | |
| ひとこと | ・あらかじめ災害時の避難所のレイアウトについて地域で決めておく と、効果的な訓練になります。 | |


(1 2) 避難所資機材組立訓練

|  | | 概 要 |
|---|---|---|
| | | <p>避難所で過ごすために、松山市や地域でさまざまな資機材（簡易トイレ、段ボールベッド、発電機、照明機器など）を備えていますが、それらを実際に組み立て、使用方法を確認します。</p> |
| 目的 | 避難所用資機材の組立方法や使用方法を習得する。 | |
| 対象 | 自主防災組織の避難所班のみなさん | |
| 準備物 | 避難所用資機材（市や地域でそなえているものを活用しましょう） | |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 | |
| ひとこと | ・段ボールベッドなどの貸出は最寄りの消防署または防災・危機管理課 にご相談ください。 | |


(13) 避難者対応訓練

| | |
|--|---|
|  | <p>概 要</p> |
| <p>避難所運営者役と避難者役に分かれて行います。避難者役は、高齢者、妊婦さんなどの要配慮者や、おなかがすいた、トイレに行きたいなどの設定をして避難所へ訪れます。運営者は、それぞれの避難者に適切に対応し、避難所運営を体験してみましょう。</p> | |
| <p>目的</p> | <p>実際に近い避難所運営を体験してみる。</p> |
| <p>対象</p> | <p>自主防災組織の避難所班のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>避難所運営者と避難者の役割分担、避難者役の条件設定</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・条件設定をする際は HUG のカードも参考にしてみましょう。HUG のカードは防災・危機管理課で貸し出しています。</p> |


(14) 炊出し訓練（非常食なし）

| | |
|---|--|
|  | <p>概 要</p> |
| <p>災害時にあたたかい食事は大切です。炊出し訓練では、地域で備えている調理器具の使用方法や、必要な人数、材料の量を確認します。防災訓練の最後に参加者みんなです食してみましょう。</p> | |
| <p>目的</p> | <p>調理器具の使用方法や、必要な人数、材料の量を確認する。</p> |
| <p>対象</p> | <p>自主防災組織の給食・給水班のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>食材、調理器具</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・(16) のパック調理を取り入れるのもひと工夫です。 ・女性が担当することが多いですが、男性だけで実施してみるのも◎</p> |


(15) 炊出し訓練 (非常食あり)

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>非常食とはどんなものか、訓練で実際に作ったり食べたりして体験してみましょう。 また、炊出しのかわりにレトルト食品（レトルトカレーとパックごはんなど）を使って給食訓練をおこなうのもひとつの方法です。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>非常食のつくり方を習得し、味を知っておく。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の給食・給水班のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>非常食、ガスコンロなど</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・(16) のパック調理を取り入れるのもひと工夫です。 ・女性が担当することが多いですが、男性だけで実施してみるのも◎ |


(16) パック調理

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>ビニール袋を使って湯煎することでお米を炊いたり、蒸しパンを作ったり、しぐれを作ったりできます。湯煎用の水は飲料水でなくても大丈夫なので、災害時に節水しながら温かい食事を用意することができます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>災害時に役立つ調理方法を学ぶ。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>湯煎できるビニール袋、材料（米、ホットケーキミックスなど）</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・材料を工夫すると、アレンジメニューも作れます。 ・火を使うので、安全管理に気を付けましょう。 |


(17) 防災講話

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>防災について、様々なテーマの話をきいて日頃のそなえについて学びましょう。 DVD を上映する方法もあります。 地域や参加者の特性にあわせたテーマを選ぶと効果的です。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>防災、減災のための日頃のそなえについて学ぶ。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>講師、DVD など</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署または防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・講師派遣や DVD の貸出は、最寄りの消防署または防災・危機管理課までご相談ください。</p> |


(18) NTT 災害用伝言ダイヤル啓発

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>NTT 災害用伝言ダイヤルは災害時の声の伝言板です。電話やメールがつながりにくくなる災害時、安否確認の手段として注目されています。訓練では住民のみなさんに使い方を覚えてもらいましょう。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>NTT 災害伝言ダイヤルの使い方を知る。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>災害伝言ダイヤル啓発資料など</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・毎月 1 日と 15 日には体験利用をすることもできます。</p> |


(19) HUG (避難所運営ゲーム)

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>HUG (避難所運営ゲーム) は、静岡県が開発した避難所の運営を体験できるカードゲームです。プレイヤーが避難所の運営者となり、カードをめくって出てくる様々な課題の解決方法を考えます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>避難者への対応や物資の受入れなど、避難所の運営方法を学ぶ。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>HUG セット</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ HUG セットの貸出は防災・危機管理課へご相談ください。 ・ 実際の避難所の図面を使うと、災害時のレイアウトを検討できます。 |


(20) クロスロード

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>クロスロードは、阪神淡路大震災をきっかけに神戸市が開発したカードゲームです。このゲームでは、災害時におこる難しい判断を体験することができます。このゲームを通じて、いろいろな考え方があることを知りましょう。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>災害時に起こる問題を知り、様々な考え方があることを理解する。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>クロスロードセット</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ クロスロードセットの貸出は防災・危機管理課へご相談ください。 |


(21) DIG (災害図上訓練)

|  | | 概 要 |
|---|--|--|
| | | <p>静岡県が開発したゲームで、参加者が大きな地図を囲み、危険な箇所や安全な場所、避難ルートなどを書き込みながら、みんなで意見を出し合います。</p> <p>目に見える形で地域の課題を知り、今後の対策を考えることができます。</p> |
| 目 的 | DIG を通して地域で必要な備えや行動を話し合う。 | |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん | |
| 準備物 | 地図、透明シート、カラー油性マジック、シールなど | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | |
| ひとつこと | <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所や役立つ場所をチェックするまち歩きをあわせて行くと、より効果的です。 | |


(22) 防災情報の見方・取り方を学ぶ

|  | | 概 要 |
|---|--|---|
| | | <p>風水害に関する様々な情報が、気象庁や自治体から発信されています。</p> <p>それらを正しく理解し活用することで、風水害での逃げ遅れゼロを目指します。</p> |
| 目 的 | 様々な防災情報の意味を理解し、適切に取得・活用する。 | |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん | |
| 準備物 | なし | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | |
| ひとつこと | <ul style="list-style-type: none"> (48)「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」の使い方を学ぶも合わせて実施すると効果的です。 | |


(23) マイ・タイムラインづくり

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>マイ・タイムラインは、災害時の自分や家族の行動を時系列で記したもので、逃げ遅れ0（ゼロ）への効果が期待されています。 自宅の災害リスクも確認できるので、はじめて防災を考える人にもおすすめです。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>災害時の避難行動をあらかじめ確認し、早めの避難につなげる。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>各種ハザードマップ、マイ・タイムラインシート</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・マイ・タイムラインシートは松山市 HP からダウンロードできます。</p> |


(24) 地域のタイムラインづくり

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>マイ・タイムラインと同様に、風水害時の自主防災組織の行動計画を考えます。 災害時に必要な役割を洗い出し、それぞれがどんな役割でどのように動くのか、みんなで話し合うきっかけにしてください。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>風水害時の自主防災組織の行動計画をつくる。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>各種ハザードマップ、地域のタイムラインシート</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <p>・地域のタイムラインシートは松山市 HP からダウンロードできます。</p> |


(25) サバイバルクッキング

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>災害時は、どんな食材が手に入るかわかりません。そこで、あらかじめ食材やメニューを決めずに、みんなで持ち寄った食材で炊出し訓練を行います。</p> <p>どんな料理ができるか、みんなで楽しみながらできる訓練です。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>災害時の炊き出しをより実践的に行う。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん、住民のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>食材（何を持ち込むかは事前に話し合わない）</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとつこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・火を使用する際は安全に十分注意してください。 |


(26) 地区防災計画の見直し

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>地区防災計画は、地域の実情に合わせて見直していく必要があります。</p> <p>見直しには、地域のみなさんの参加はもちろん、専門知識を持つアドバイザーやサポーターが加わると、よりよい協議ができます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>計画を見直し、実災害時に活動できる体制を整える。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織の役員のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>地区防災計画、アドバイザーやサポーターの依頼</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとつこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・(22) 地域のタイムラインづくりも合わせて行い、自主防災組織の役割分担や活動内容を決めておくと、より効果的です。 |


(27) 災害時や防災に関する覚書や協定の締結

|  | | 概 要 | |
|---|-------------------------------|---|--|
| | | <p>災害時の避難場所や物資の確保などを目的に、自主防災組織が自発的に地域の企業や福祉施設などと応援協力の覚書を締結している事例があります。覚書や協定を交わすことで顔の見える関係づくりができ、いざというときスムーズに協力できます。</p> | |
| 目 的 | 災害時の協力体制を整える。 | | |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん | | |
| 準備物 | 覚書や協定書 | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | ・協定書などのサンプルは防災・危機管理課へご相談ください。 | | |


(28) 被災状況把握訓練

|  | | 概 要 | |
|---|--|--|--|
| | | <p>災害後に地区内のどこでどんな被害がおこっているか把握する訓練です。だれが、どのタイミングで、どのように地域の被害を調べ、どうまとめるのかといったことを話し合い、実際に地区内の見回りをしてみましょう。</p> | |
| 目 的 | 地区の被害状況を把握するための体制や方法を確認する。 | | |
| 対 象 | 自主防災組織役員のみなさん | | |
| 準備物 | 地区の地図など | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | ・事前に地区内の危険箇所を調べておくと、災害時の見回りもスムーズに行えます。 | | |


(29) 情報収集・伝達訓練

| 概 要 | |
|---|--|
|  | <p>災害時に被害状況や避難者情報などをだれが、どのように収集し、どこに集約するか、あらかじめ決めておきましょう。地域でトランシーバーなどを備えている場合は、取り扱い方法も確認しておきましょう。</p> |
| 目 的 | 災害時の情報収集・伝達について、手順や方法を確認する。 |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | トランシーバー、スマートフォンなど |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・(22) 地域のタイムラインづくりもあわせて行い、自主防災組織での役割分担を決めておくと、より効果的です。 |


(30) 避難行動要支援者の支援計画作成

| 概 要 | |
|---|--|
|  | <p>松山市から提供する「避難行動要支援者名簿」などを参考に、地区内の避難行動要支援者の方々をだれが、どのように手助けするか考えます。</p> |
| 目 的 | 避難行動要支援者の避難について計画をたてる。 |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | 避難行動要支援者名簿 |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・計画作成には、要支援者の名簿やマップ作りも効果的です。 ・民生・児童委員さんなど、ほかの団体の協力があると◎ |


(3 1) 要支援者避難訓練

| 概 要 | |
|---|--|
|  | 地域で作成した避難行動要支援者の名簿やマップ、支援計画をもとに、実際に要支援者のみなさんのお家へ避難の呼びかけをしたり、避難の支援をしたり、避難先まで安全に移動できるかどうか確認する訓練です。 |
| 目 的 | 実災害時にスムーズに避難の支援ができるか確認する。 |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | 地域で作成した避難行動要支援者の名簿やマップ、支援計画など |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・民生・児童委員さんなど、ほかの団体の協力があると◎ |

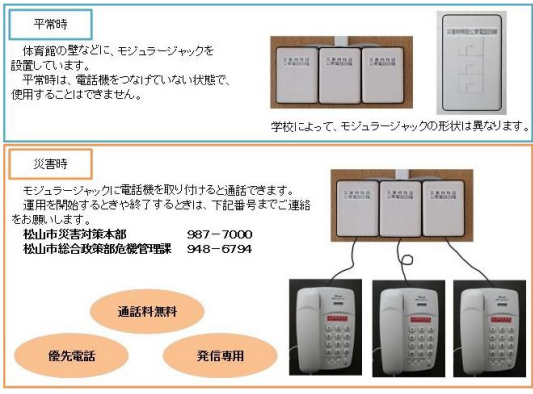
(3 2) 資機材点検・取扱訓練

| 概 要 | |
|---|---|
|  | 地域で備えている防災資機材を点検し、安全に使えるかどうか確認します。 また年に1度は管理台帳と照合し、きちんと数がそろっているか確認することも大切です。 |
| 目 的 | 地域の防災資機材の数量、使用方法を確認する。 |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | 地域の防災資機材 |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・祭りなど地域行事の日に実施すると、住民のみなさんにも広く使い方を知ってもらうことができます。 |


(33) マンホールトイレ設置訓練

| 概要 | |
|---|---|
|  | 公共下水道に接続されている市立小中学校に、マンホールトイレの整備を進めています。いざという時に迅速にトイレ機能を確保することを目的に、その組立て方や使い方の訓練を実施します。 |
| 目的 | マンホールトイレの役割、組立方法や使用方法を習得する。 |
| 対象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 松山市公営企業局企画総務課 (TEL: 089-998-9802) |
| ひとこと | ・マンホールトイレが設置されている学校は 松山市 HP で確認できます。 |

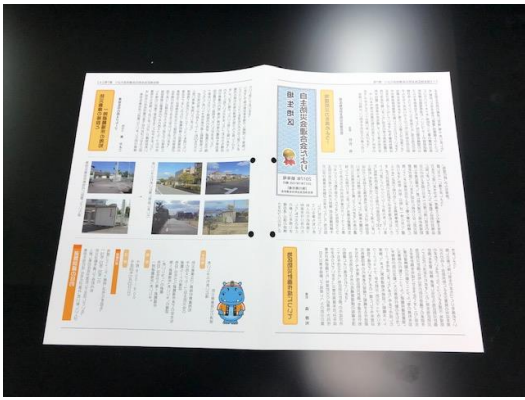
(34) 災害用特設公衆電話設置訓練

| 概要 | |
|---|--|
|  | 市内の小中学校では、災害時公衆電話が設置できるようになっています。設置方法と使用方法を確認して、いざというときに通信手段が使えるように準備しておきましょう。 |
| 目的 | 災害時公衆電話の設置および使用方法を確認する。 |
| 対象 | 自主防災組織の役員のみなさん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 防災・危機管理課 |
| ひとこと | 学校と協力して訓練を行うと、実災害時に役立ちます。 ※災害用特設公衆電話は発信専用です。 |


(35) 公衆無線 LAN 設置訓練

|  | | 概 要 | |
|---|--|---|--|
| | | <p>市内の小中学校や公民館では、災害時に公衆無線 LAN が設置できるようになっています。設置方法と使用方法を確認して、いざというときに通信環境が整えられるように準備しておきましょう。</p> | |
| 目 的 | 災害時の公衆無線 LAN 設置および使用方法を確認する。 | | |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん | | |
| 準備物 | なし | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の公衆無線 LAN は、愛媛県とソフトバンクモバイル株式会社の協定に基づき設置されています。 | | |


(36) 防災広報紙の発行

|  | | 概 要 | |
|---|---|---|--|
| | | <p>地域の災害リスクや最新の防災情報などをまとめた広報紙を発行します。発行には執筆やレイアウト、印刷など時間がかかるので、余裕のあるスケジュールを組みましよう。</p> | |
| 目 的 | 防災情報を発信し、住民のみなさんに啓発する。 | | |
| 対 象 | 自主防災組織の役員のみなさん | | |
| 準備物 | なし | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板などといっしょに配布すると、多くの方が防災について考えるきっかけづくりができます。 | | |


(37) わがまち防災マップづくり

|  | | 概要 | |
|---|--|--|--|
| | | <p>自分たちのまちの防災マップを作成します。まつやま防災マップをベースに、たとえば、医療機関や福祉施設、地域で設定している避難所などオリジナルの項目を掲載すると、より使いやすい防災マップになります。</p> | |
| 目的 | 地域密着の防災マップをつくり、避難しやすい環境をつくる。 | | |
| 対象 | 自主防災組織の役員のみなさん | | |
| 準備物 | なし | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・わがまち防災マップを使った防災訓練をするなど、住民のみなさんに知ってもらう工夫も必要です。 | | |


(38) 夜間の災害対応訓練

|  | | 概要 | |
|---|--|---|--|
| | | <p>災害はいつ起こるかわかりません。夜に災害が起こって停電し、暗闇の中で活動する場合も考えられます。そこで、夜間に避難誘導をしたり、暗い避難所で発電機や照明を組み立てたりして、夜の災害に備えます。</p> | |
| 目的 | 夜の災害に備え、暗所でも活動できるようにする。 | | |
| 対象 | 自主防災組織役員のみなさん | | |
| 準備物 | 懐中電灯、ヘッドライトなど | | |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・暗所での訓練は、安全に十分注意して行ってください。 | | |


(39) 家具転倒防止の啓発

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>阪神淡路大震災では、死者の約8割が圧死でした。家具を固定することで、こうした被害を軽減することができます。住民のみなさんに家具固定の大切さを啓発し、ひとりで固定が難しい方はお手伝いするなどして、地域で取り組みを広めていきましょう。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>家具固定をすすめ、地域の安全性を高める。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>自主防災組織のみなさん</p> |
| <p>準備物</p> | <p>家具固定グッズのサンプルなど</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・家具固定のパフレットは防災・危機管理課で提供します。 ・防災・危機管理課から家具固定グッズのサンプル貸出もできます。 |


(40) 防災グッズづくり

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>子どもたちと一緒に、新聞スリッパや牛乳パックホイッスルなど、防災に役立つグッズをつくります。 工作の要素をとり入れることで、楽しみながら防災について学ぶことができます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>防災グッズづくりを通じて、子どもたちに防災に興味を持ってもらう</p> |
| <p>対 象</p> | <p>小学生</p> |
| <p>準備物</p> | <p>新聞→新聞スリッパ、牛乳パック、マスキングテープ→ホイッスルなど</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署または防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズの作り方はインターネットでも多く公開されています。 |


(4 1) 防災クイズ

| 概要 | |
|---|--|
|  | <p>防災に関する知識をクイズ形式で学びます。 楽しみながら、防災に必要な知識を身に付けましょう。 問題づくりも地域で行うと、より理解が深まります。</p> |
| 目的 | クイズを通して防災に関する知識を学ぶ |
| 対象 | 小学生～大人 |
| 準備物 | クイズの問題 |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・防災グッズなどの景品を用意すると、より楽しみながら参加できます。 |


(4 2) 防災すごろく

| 概要 | |
|---|---|
|  | <p>すごろくのマスに、防災に関する内容を入れて楽しみながら防災を学びます。 すごろくの盤面づくりにも地域で取り組むと、より理解が深まります。</p> |
| 目的 | 防災に関する知識の習得 |
| 対象 | 小学生 |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 最寄りの消防署または防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・防災グッズなどの景品を用意すると、より楽しみながら参加できます。 |


(43) 防災まちあるき・マップ作り

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>まちあるきをして、地域にある危険な箇所や役立つ施設などを見つけ、それを地図に書き込んで防災マップをつくります。</p> <p>実際に歩くことで新たな気付きもあり、また地図にすることで地域のみなさんに見つけたことを伝えることもできます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>自分の住む地域を知り、自分の身は自分で。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>小学生～中学生</p> |
| <p>準備物</p> | <p>地図（A0サイズ）、カメラ、カラーペン、画用紙など</p> |
| <p>相談先</p> | <p>最寄りの消防署または防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとつこと</p> | <p>・まちあるきは大人もいっしょに、安全に十分注意して行いましょう。</p> |


(44) 防災キャンプ

| | |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">概 要</p> <p>みんなで炊出しをしたり、避難所に宿泊したり、防災ゲームをしたりと、実際の体験を通して防災に必要な技術や知識を習得します。</p> <p>みんなで体験するので、助け合うことや協力することも学ぶことができます。</p> |
| <p>目 的</p> | <p>実践的な活動を通して、自分だけでなく他者も助けられるようになる。</p> |
| <p>対 象</p> | <p>小学生～中学生</p> |
| <p>準備物</p> | <p>なし</p> |
| <p>相談先</p> | <p>防災・危機管理課</p> |
| <p>ひとつこと</p> | <p>・大人もいっしょに、安全に十分注意して行いましょう。</p> |


(45) 簡易トイレの実験

|  | | 概 要 | |
|---|---|--|--|
| | | <p>簡易トイレと凝固剤、水を使って、災害時のトイレの実験をします。 凝固剤がどんな役割をするのか学び、家庭でのトイレの備蓄を促します。</p> | |
| 目 的 | 災害時のトイレについて学ぶ。 | | |
| 対 象 | 小学生～中学生 | | |
| 準備物 | なし | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・過去の災害のトイレ事情も合わせて説明しましょう。 ・ゼリーを使った応用編の実験も可能です。 | | |


(46) ロープワーク

|  | | 概 要 | |
|---|--|---|--|
| | | <p>災害時に役立つロープの結び方を学びます。 ロープワークは、日常生活にも役立てることができる知識です。 簡単な結び方から難易度の高いものまで様々なので、参加者のレベルに合わせて対応できます。</p> | |
| 目 的 | 様々なロープの結び方について学ぶ。 | | |
| 対 象 | 小学生～中学生 | | |
| 準備物 | なし | | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | | |
| ひとこと | <ul style="list-style-type: none"> ・屋内でも、屋外でも実施することができます。 | | |


(47) 非常持ち出し袋カードゲーム

| | | |
|---|-------------------------|---|
|  | | 概 要 |
| | | <p>災害時の避難に備えて各家庭で用意しておく「非常持ち出し袋」。その中身を、カードゲームで考えることができます。水や食糧、着替えなどのイラストが描かれた大きさの違うカードリュックのシートに並べ、自分だけの中身を考えます。</p> |
| 目的 | 自分に合った非常持ち出し袋の中身を考える。 | |
| 対象 | 小学生～中学生 | |
| 準備物 | なし | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | |
| ひとこと | ・ワークシートを使って実施する方法もあります。 | |

(48) 風水害 24

| | | |
|---|----------------------|--|
|  | | 概 要 |
| | | <p>大規模台風の接近から直撃・通過までの24時間を、ゲーム形式で体験できます。様々な立場のプレイヤーになり、「逃げ遅れゼロ」を目指しましょう。子どもから大人まで、楽しみながら風水害について学習できます。</p> |
| 目的 | 風水害時の行動や避難のタイミングを学ぶ。 | |
| 対象 | 小学生～大人 | |
| 準備物 | なし | |
| 相談先 | 防災・危機管理課 | |
| ひとこと | ・所要時間は約2時間です。 | |

(49) 要配慮者のトリアージ

| 概 要 | |
|---|---|
|  | <p>避難所に訪れる要配慮者を、病院や福祉避難所に搬送すべきか、福祉避難室で受け入れるべきか、一般の避難室でよいかなど、トリアージのための知識を学びます。</p> <p>具体的な事例を使って、ワークショップで進めます。</p> |
| 目 的 | 避難所での要配慮者への対応に必要な知識を学ぶ。 |
| 対 象 | 自主防災組織の皆さん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・所要時間は約1時間です。 |

(50) 「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」の使い方を学ぶ

| 概 要 | |
|---|--|
|  | <p>令和5年4月から「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」の運用を開始しました。</p> <p>アプリでは簡単にマイ・タイムラインが作成できるほか、災害時に避難所情報や避難情報を受け取ることもできます。</p> |
| 目 的 | アプリの使い方を学び、平時も災害時も情報を取得できるようになる。 |
| 対 象 | 自主防災組織の皆さん |
| 準備物 | なし |
| 相談先 | 防災・危機管理課 |
| ひとこと | ・マイ・タイムラインを紙で作成する場合は(23)を参照ください。 |

4. ほかの組織や団体と協力しましょう

災害時には自主防災組織だけでなく、様々な組織や団体と連携して活動することが大切です。ここでは、地域にある組織や団体の紹介とどのような点で協力をするとよいか例示します。普段から顔の見える関係をつくっておきましょう。

■他組織との連携・協力の例（○：平常時、●：災害時）

| 組織名 | 連携できること |
|-------------------|---|
| 消防団 | ○防災知識の普及啓発 ○防災訓練での指導や講師 ●情報収集や避難誘導 など |
| 女性防火クラブ | ○防災知識の普及啓発 ○防火や家具転倒防止など、家庭での備えの促進 ●避難所運営や炊出し など |
| 民生委員・児童委員、社会福祉協議会 | ○避難行動要支援者の支援計画の作成 ●避難行動要支援者の避難の手助け ●避難所での生活支援・心身のケア ●災害ボランティアの受入れ など |
| 学校、PTA | ○避難所開設・運営など訓練の共同実施 ○生徒、児童ら若い世代の防災への参加 ●避難所の運営 など |
| 企業、事業所 | ○防災知識の普及啓発、訓練への参加 ●避難場所や物資、資機材の協力 ●日中に災害が起こった時の活動支援 など |
| 福祉施設 | ○避難行動要支援者の支援計画の作成 ●避難場所の協力 ●避難者の心身のケア など |
| 医療機関 | ○応急救護などの訓練指導 ●傷病者の応急手当 ●避難所での健康維持 など |
| 他地区の自主防災組織 | ○訓練の協同実施 ○取組みについて情報交換 ●避難所運営の協力 など |
| 防災リーダークラブ | ○防災知識の普及啓発、訓練への参加 ○若い世代への啓発、人材育成 ●避難所運営の協力 など |

5. あれば安心！備蓄・資機材リスト

災害時には様々な備蓄や資機材が役立ちます。ここでは、地域で備えておきたい物資を目的別に掲載します。

松山市では自主防災組織向けの補助金の交付や活動資機材の貸出もしていますので、そうした制度を活用して、備蓄を進めていきましょう。

■地域での備蓄例

| 目的 | 資機材 |
|---------|--|
| 情報収集・伝達 | 無線機、メガホン、携帯用ラジオ、ドローン、住宅地図 など |
| 水防 | 防水シート（ブルーシート）、スコップ、ロープ、土のう袋、長靴、排水ポンプ など |
| 救助・救出 | バール、チェーンソー、ジャッキ、のこぎり、スコップ など |
| 救護 | 担架、毛布、救急箱、簡易ベッド など |
| 避難所 | リヤカー、発電機、投光器、簡易トイレ、簡易ベッド、ベスト、腕章、マット、カーペット など |
| 給食・給水 | 調理器具、給水タンク、非常食、非常飲料水 など |
| その他 | 防災倉庫 など |

6. 資機材・備品など貸出品リスト

松山市では、自主防災組織の活動に必要な資機材・備品などの貸出を行っています。利用される場合は、最寄りの消防署か防災・危機管理課までご連絡ください。

■防災訓練・研修会等の実施に伴う防災・危機管理課、消防局保有資機材一覧表

| 種 別 | 名 称 | 数 量 | 備 考 |
|------------------|--------------------|--------|---------------------------------------|
| 消 火 | 訓練用水消火器 | 10本 | |
| | 粉末消火器 | 50本 | |
| | オイルパン・点火棒 | 1式 | |
| | 消火訓練装置 | 1台 | |
| | 火点表示用標的 | 3個 | 水消火器用の標的 |
| | 消火用赤バケツ | 150個 | バケツリレー専用 |
| | 天ぷら油火災実験装置 | 1台 | H24購入 |
| 通 報 | 119番通報訓練装置 | 1セット | 119番擬似体験 |
| 煙体験 | 煙体験ハウス | 2セット | 煙発生装置（スモークマシン）付 |
| 防災 グッズ | 展示用備蓄物資 | 1セット | 非常食（H25更新） |
| | 展示用災害写真 | 400枚程度 | 東日本大震災（180）、阪神大震災（120）、芸予地震（54）等の災害写真 |
| | 家具固定用プッシュピン | 2個 | 壁の棧を見つけるためのセンサーとプッシュピン |
| | 段ボールベッド | 10組 | |
| 救出 救護 | ヘルメット | 50個 | |
| | 子供用ヘルメット | 50個 | |
| | タンス | 5セット | |
| | ジャッキ | 10セット | |
| ワーク ショッ プ用 | HUG ゲーム（地震編） | 8セット | |
| | HUG ゲーム（風水害編） | 8セット | |
| | HUG ゲーム（災害時要配慮者編） | 8セット | |
| | HUG ゲーム（イラストふりがな編） | 8セット | |
| | HUG ゲーム（社会福祉施設編） | 8セット | |
| | クロスロードゲーム | 4セット | |

| 種 別 | 名 称 | 数 量 | 備 考 |
|-----|--------------------|---------|-------------------|
| その他 | テント | 4 張 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | 発電機 | 4 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | 投光器 | 4 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | 作戦版 (ホワイトボード) | 4 枚 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | D V D デッキ (B D 対応) | 1 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | ビデオカメラ | 1 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | プロジェクタ | 1 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | スクリーン | 1 台 | H 2 2 コミュニティ事業による |
| | 気圧高度計 | 4 台 | H 2 3 購入 |
| | マスコット人形 | 2 体 | はっぴーカバーくん着ぐるみ |
| | 展示用防災資機材セット | 各 1 セット | 新・旧タイプ |
| | 住宅用火災警報器 | 9 個 | 消防署・支署 |
| | 防災啓発用のぼり | 4 本 | |
| | 防火・防災 DVD | 5 0 本程度 | リストは次ページ以降を参照 |
| | 子供用防火衣 | 4 着 | オレンジ色 2 銀色 1 黄色 1 |
| | 防災かるた | 1 組 | |

■ 防火・防災 DVD 一覧

| 番号 | 題 名 | 時間 | 制作年 |
|----|---|-----|-------|
| 1 | 火災事例から学ぶ【店舗火災編】 | 44分 | 平成21年 |
| 2 | ふせごう 家具等の転倒防止対策 | 21分 | 平成21年 |
| 3 | 火災！逃げ遅れを防げ！ 増加している高齢者住宅火災 | 21分 | 平成21年 |
| 4 | みんなで考える 防火安全の知恵！ | 42分 | 平成22年 |
| 5 | あなたの街を襲う大地震 検証・震度6弱・被害軽減・駿河湾の地震 | 22分 | 平成22年 |
| 6 | 地震火災から命を守るために | 15分 | 平成22年 |
| 7 | 火災事例に学ぶ | 32分 | 平成23年 |
| 8 | 高齢者の安心・安全のために(家電製品の正しい使い方) | 17分 | 平成24年 |
| 9 | 住宅用火災警報器と消火器の重要性 | 16分 | 平成22年 |
| 10 | 火災時、あなたはどうする！ ～小規模社会福祉施設等における避難訓練等の方法～ | 16分 | 平成23年 |
| 11 | わが家の消火器具 住宅用消火器具の買い方/使い方/処分方法 | 26分 | 平成22年 |
| 12 | 個室型店舗の消防訓練マニュアル | 10分 | 平成22年 |
| 13 | 暖房器具火災の真実 高齢者の生活実態を踏まえた火災検証実験 | 19分 | 平成23年 |
| 14 | 消火器リサイクルシステム 法律順守のポイント | 14分 | 平成23年 |
| 15 | ①火気管理 ②共同防火管理の進め方 | 34分 | 平成22年 |
| 16 | 火災からあなたを守る防災品 | 2分 | 平成24年 |
| 17 | あさりちゃんと学ぶ 地震への備え (アニメ) | 10分 | 平成24年 |
| 18 | あさりちゃんの火の用心 (アニメ) | 10分 | 平成23年 |
| 19 | 3.11 東日本大震災 激震と津波の記録 | 80分 | 平成23年 |
| 20 | 問われる防火管理者の責任 - 職場の中での防火対策一 | 23分 | 平成20年 |

| 番号 | 題名 | 時間 | 制作年 |
|----|---|-----|-------|
| 21 | 防火管理者の仕事 | 29分 | 平成18年 |
| 22 | 防火管理者の行動 | 23分 | 平成18年 |
| 23 | 自分のところは自分で守る 自衛消防訓練の実施 | 18分 | 平成16年 |
| 24 | 認知症高齢者グループホームにおける防火安全対策 | 25分 | 平成19年 |
| 25 | イザ！というときに役立つ 消防用設備等の取扱い | 20分 | 平成16年 |
| 26 | 日々の安心は日頃の防火意識から「防火管理の意義と制度」 | 25分 | 平成16年 |
| 27 | 充実した防火管理を行うために「消防計画の作成要領」 | 20分 | 平成16年 |
| 28 | 事例に学ぶ危機管理 震災時の業務継続 | 35分 | 平成23年 |
| 29 | くらしの安全・安心住宅用防災機器等 | 22分 | 平成17年 |
| 30 | 津波は怖い！ みんなで知ろう！津波の怖さ | 12分 | 平成24年 |
| 31 | 災害時要援護者対策の進め方 | 30分 | 平成19年 |
| 32 | 津波から生き延びるために！ | 15分 | 平成20年 |
| 33 | 3匹のこぶた☆オオカミの逆襲！ | 60分 | 平成20年 |
| 34 | 地震だ！その時どうする？ | 18分 | 平成21年 |
| 35 | 小規模社会福祉施設における自動火災報知設備及び火災通報装置の取り扱いと維持管理 | 25分 | 平成23年 |
| 36 | おじいちゃんが残してくれたもの | 10分 | 平成24年 |
| 37 | 職場で取り組む地震対策 | 19分 | 平成24年 |
| 38 | 桃太郎の火あそびやめよう！ 火の用心（アニメ） | 10分 | 平成25年 |
| 39 | 未然に防ごう！電気器具火災～身近に潜む火災危険～ | 14分 | 平成25年 |
| 40 | あなたの街からはじめよう～地域で取り組む津波避難対策～ | 24分 | 平成25年 |
| 41 | ナンデくんと学ぶ地震と津波を知ろうーじぶんの命を守るためにー | 16分 | 平成24年 |
| 42 | 相次ぐ 高齢者住宅火災 身近に潜む火災の危険 | 22分 | 平成25年 |

| 番号 | 題名 | 時間 | 制作年 |
|----|---|------|-------|
| 43 | 住宅火災から家族を守るために | 8分 | 平成25年 |
| 44 | 2011年3月11日 ～東日本大震災・岩手の記録～ | 120分 | 平成24年 |
| 45 | 彼女のプレゼント～燃えなかったクッション～ | 17分 | 平成26年 |
| 46 | 「火事だ！」命を守るには ～検証 宝塚市役所放火～ | 21分 | 平成26年 |
| 47 | 灯油等の危険物による火災の実態 | 12分 | 平成26年 |
| 48 | 南海トラフ巨大地震～地震から命を守る～ | 17分 | 平成26年 |
| 49 | くらしにプラス！住宅用消火器 | 16分 | 平成26年 |
| 50 | 小さな火種の知られざる恐怖～たばこ火災を防ぐために～ | 13分 | 平成27年 |
| 51 | 住宅用火災警報器交換のおすすめ 10年たったら、とりカエル | 10分 | 平成27年 |
| 52 | 【高齢者】 マムシさんと学ぶ！住まいの防火塾 | 26分 | 平成27年 |
| 53 | 大地震発生！命と事業所を守れ 職場の防災対策 | 22分 | 平成25年 |
| 54 | 防災教育シリーズ 命を守る！避難の3原則 第1巻:教員・教諭編 -釜石の奇跡に学ぶ- | 69分 | 平成24年 |
| 55 | 防災教育シリーズ 命を守る！避難の3原則 第2巻:小学生編 -釜石の奇跡に学ぶ- | 31分 | 平成24年 |
| 56 | 防災教育シリーズ 命を守る！避難の3原則 第3巻:中学生編 -釜石の奇跡に学ぶ- | 29分 | 平成24年 |
| 57 | 防災教育シリーズ 命を守る！避難の3原則 第4巻:家庭教育編 -釜石の奇跡に学ぶ- | 29分 | 平成24年 |
| 58 | 知っておこう！煙の怖さと避難のポイント！ | 14分 | 平成27年 |
| 59 | ウルトラマンに学ぶ キッズ防火防災教室 | 15分 | 平成27年 |
| 60 | みきゃんの防災教室 ～じしんからいのちをまもろう～ | 9分 | 平成27年 |
| 61 | いのちを守る 病院火災の初期対応 | 23分 | 平成28年 |
| 62 | いのちを守る ホテル・旅館火災の初期対応 | 23分 | 平成28年 |
| 63 | いのちを守る 福祉施設火災の初期対応 | 23分 | 平成29年 |

| 番号 | 題名 | 時間 | 制作年 |
|----|---|-----|-------|
| 64 | 誰でもできる消防訓練 | 17分 | 平成28年 |
| 65 | 水害発生その時！～命を守る日頃の備え～ | 22分 | 平成29年 |
| 66 | 助ける、助かる 検証 西日本豪雨 | 22分 | 令和元年 |
| 67 | 地震・水害から命を守る 生き抜くための自助・共助 | 24分 | 令和元年 |
| 68 | 自主防災組織活動活性化促進 DVD「自分の命は自分で守る～水害や土砂災害から適切に避難するために～」 知識編・活動編 | 28分 | 令和元年 |
| 69 | 自主防災組織活動活性化促進 DVD「自分の命は自分で守る～水害や土砂災害から適切に避難するために～」 小学生向け | 8分 | 令和元年 |
| 70 | 電気なら安全？ 増加する家庭電気火災 | 18分 | 令和2年 |
| 71 | 検証・住宅火災 高齢者の死者が増加しています | 18分 | 令和2年 |
| 72 | 災害の備え適切な行動 見て学ぶ事業所の防災訓練 | 24分 | 令和2年 |
| 73 | 火災から人を守る町を守る（消防署のはたらき） | 20分 | 令和2年 |
| 74 | うしわかまるのじしんとかじからじぶんをまもる！ | 10分 | 令和2年 |
| 75 | 早く知る早く消す 台所火災に気をつけよう | 18分 | 令和2年 |
| 76 | 迫り来る大地震に備える ～そのとき、その場所に合った身の守り方をするために～ | 26分 | 令和2年 |
| 77 | 職場の防火管理、重要です！ | 24分 | 令和2年 |

| 番号 | 題名 | 時間 | 制作年 |
|----|----------------------------------|-----|------|
| 78 | 未来を描ける子 つながり広がる防災教育（全12作品） | | 令和3年 |
| | ・土砂災害について学ぶ | 9分 | |
| | ・洪水災害について学ぶ | 13分 | |
| | ・気象情報を防災に生かすー気象情報が出るまでー | 9分 | |
| | ・マイ・タイムラインをつくろう | 13分 | |
| | ・地震に強い家・そなえる | 9分 | |
| | ・防災まち歩きをして防災マップをつくろう | 11分 | |
| | ・災害用伝言ダイヤル171 | 9分 | |
| | ・誰にとっても安心なまちーみんなが使いやすく生活しやすい避難所ー | 8分 | |
| | ・人間を救うのは人間だー日本赤十字ー | 6分 | |
| 79 | ・ハザードマップの見方を学ぼう | 10分 | |
| | ・防災訓練から災害時にできることを学ぼう | 7分 | |
| 80 | 要配慮者の備えと避難行動 | 27分 | 令和3年 |
| 81 | 水害から命を守る備えと避難行動 | 27分 | 令和3年 |
| 82 | 巨大台風が上陸 早めに避難行動をしよう | 19分 | 令和3年 |
| 83 | 繰り返す豪雨の被害 危険箇所を検証する | 21分 | 令和3年 |
| 84 | ハローキティとまなぼう！ ぼうさいくんれん（アニメ） | 14分 | 令和3年 |

| 番号 | 題名 | 時間 | 制作年 |
|----|----------------------------|-----|------|
| 85 | 火事から自分の命を守る 生き抜くためのリスクウォッチ | 15分 | 令和3年 |
| 86 | お友だちと考えよう 住宅防火! | 15分 | 令和4年 |
| 87 | うしわかまるのクイズでまなぶ 火事だ! どうする? | 10分 | 令和4年 |
| 88 | 愛媛県地域防災リーダー育成動画(スキルアップ編) | 48分 | 令和5年 |
| 89 | 愛媛県地域防災リーダー育成動画(地域防災リーダー編) | 31分 | 令和5年 |

■ 消防庁無償貸付資器材一覧(地域の訓練等へ貸出可能です)

| 名称 | 数量 | 備考 |
|-----------|----|--------------|
| 訓練用AEDセット | 2 | 訓練用AED・訓練用人形 |
| 救助工具セット | 1 | |
| 折畳式担架 | 3 | |
| 折畳式リヤカー | 1 | |
| ハンドマイク | 2 | |
| 投光器 | 1 | スタンドライトセット |
| 防雨型コードリール | 5 | |

7. 困ったときの相談先

| 所属 | | 住 所 | 電 話 | 管轄地区 |
|-------------------|------|------------|--------------|----------------------------------|
| 中央 消 防 署 | 本 署 | 本町六丁目6-1 | 089-926-9222 | 清水・味酒・雄郡・新玉 |
| | 城北支署 | 馬木町2227 | 089-979-5081 | 和気・久枝・潮見・堀江 |
| | 北条支署 | 北条辻1170-6 | 089-993-1818 | 北条・浅海・難波・正岡 立岩・河野・栗井 |
| 東 消 防 署 | 本 署 | 道後湯之町18-4 | 089-933-0876 | 東雲・湯山・日浦・湯築 伊台・道後・五明 |
| | 城東支署 | 河原町7-19 | 089-945-0955 | 番町・八坂・素鷺 |
| 南 消 防 署 | 本 署 | 北土居三丁目3-26 | 089-957-8615 | 石井・桑原・浮穴 荏原・坂本・久米（※1） |
| | 東部支署 | 平井町甲3280-7 | 089-976-6088 | 小野・久米（※1） |
| 西 消 防 署 | 本 署 | 三津三丁目4-23 | 089-951-0894 | 三津浜・高浜・宮前 味生・生石（※2） 興居島・中島 |
| | 西部支署 | 富久町277 | 089-973-7522 | 垣生・余土・生石（※2） |
| 防災・危機管理課 | | 二番町四丁目7-2 | 089-948-6795 | 市内全域 |

【備 考】

（※1）久米地区の南土居町、北久米町、南久米町、来住町及び福音寺町については南署本署にて対応し、高井町、鷹子町、及び久米窪田町については、東部支署にて対応します。

（※2）生石地区の北吉田町、高岡町及び南吉田町については西署本署にて対応し、富久町、久保田町については、西部支署にて対応します。

